

第1問 中学校学習指導要領解説（平成29年7月）「音楽編」における「第3章 第1節 第1学年の目標と内容 2 内容 (1) A 表現」の一部を読み、次の問1～問10に答えなさい。

(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(略)

(略)

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) ①曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり

(略)

曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するためには、②【共通事項】と関わらせた指導によって、生徒が曲想を感じ取り、感じ取った理由を、音楽の構造や歌詞の内容の視点から自分自身で捉えていく過程が必要である。

(略)

(イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり

(略)

③民謡、④長唄などの我が国の伝統的な歌唱及び諸外国の様々な歌唱には、その⑤曲種に応じた声の出し方などによる声の音色や響きがある。

(略)

(2) 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(略)

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために⑥必要な奏法、⑦身体の使い方などの技能

(略)

(略)

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(略)

(略)

問6 ⑥——について、リコーダーで演奏する際、スラーのついた最初の音だけタンギングをし、滑らかに演奏する奏法を選びなさい。 No. 6

- ア ノンレガート奏法
- イ スタッカート奏法
- ウ テヌート奏法
- エ レガート奏法

問7 ⑥——について、アルト・リコーダーで次の楽譜を演奏する際、サミングを使用する音の個数を選びなさい。 No. 7



- ア 1 イ 4 ウ 6 エ 7

問8 ⑥——について、クラシック・ギターのアポヤンド奏法の説明の組合せとして、ふさわしいものを選びなさい。 No. 8

選択肢	弾き方	適していること
ア	弦を弾いた指は、隣の弦に当てて止める。	旋律を弾いたり、低音をしっかりと鳴らしたりするときに適している。
イ	弦を弾いた指は、隣の弦に当てて止める。	アルペッジョ（分散和音）で弾くときに適している。
ウ	弦を弾いた指は、隣の弦に触れない。	旋律を弾いたり、低音をしっかりと鳴らしたりするときに適している。
エ	弦を弾いた指は、隣の弦に触れない。	アルペッジョ（分散和音）で弾くときに適している。

第3問 中学校学習指導要領解説（平成29年7月）「音楽編」における「第3章 第2節 第2学年及び第3学年の目標と内容 2 内容 （2）B 鑑賞」の一部を読み、次の問1～問5に答えなさい。

今回の改訂では、「第2 各学年の目標及び内容」に育成を目指す資質・能力を整理して示すこととし、言葉で説明したり①批評したりする活動については、資質・能力を育成する際の配慮事項として、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に示している。

（略）

このような活動を積み重ねることにより、②音楽に対する感性が一層豊かになり、自分にとっての音楽の価値を見いだしていくことにつながっていく。

（略）

(イ) や における音楽の意味や役割

この事項は、鑑賞領域における「」に関する資質・能力である、 や における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにすることをねらいとしている。

（略）

(ウ) 音楽表現の や

この事項は、鑑賞領域における「」に関する資質・能力である、音楽表現の や について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにすることをねらいとしている。

問1 ①———について、中学校学習指導要領解説（平成29年7月）「音楽編」における「第2章 第2節 音楽科の内容 2 各領域及び〔共通事項〕の内容 （2）鑑賞領域の内容 ④ 音楽の鑑賞における批評」に示されている音楽科における批評の説明として、正しいものを選びなさい。

No.16

- ア 音楽を捉えるために、音楽の構造の原理に注目すること。
- イ 幅広く主体的に鑑賞し、新しいイメージや感情が生まれること。
- ウ 様々な音楽文化に触れて、音楽に対する価値観や視野の拡大を図ること。
- エ 音楽のよさや美しさなどについて、言葉で表現し他者と伝え合い、論じ合うこと。